

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス あんしん		
○保護者評価実施期間	2025年 6月 15日		～ 2025年 8月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 6月 11日		～ 2025年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち一人ひとりに合わせた支援をするという意識を職員が共通して持つことができていること	学習のプリント等を事業所独自に作成し、子どもたちの苦手とする部分を繰り返し取り組めるようにしている	職員一人ひとりが更に臨機応変に子どもたちの変化に対応できるようにする
2	職員同士が情報を共有し合いながら、同じ目標を持ちながら支援に当たることができていること	いつでも声がけができるような雰囲気づくりに心掛けている	今までと同様、情報の共有を大切にしていきたい
3	職員の強みを活かしながらプログラム構成をしていること	運動系のプログラム、製作系のプログラム、ソーシャルスキルトレーニングなど、テーマを持ちながら職員の個性が出せるプログラム構築をしている	これまでのプログラムの内容に更に応用を利かせて取り組んでいきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室がプログラムの内容によっては狭く感じることもあること		おもちゃの店の配置を変更したり、パーテーションの位置を変更したりして、できるだけ広く部屋を使うことができるようにした
2	手洗い場の位置により、死角ができてしまう		どの位置に立てば職員全員で利用者全員を見ることができるか、常に支援室の中の状況を把握する
3	地域の方たちと一緒に取り組む事業などへの参加ができていない	平日は、利用児の送迎等で、全員揃ってのまとまった時間を取ることが難しい	まず職員が地域のコミュニティーセンター等に足を運び、どのようなイベントや取り組みをしているのかを知る